

くしまから はじめよう。



皆さんのもとにお届けします。
2014
4月号
年6回(偶数月)
No.243

福|島|県|広|報|誌
ゆめだより



特集

新生ふくしま胎動
福島県当初予算1兆7145億円

福島県

【編集・発行】福島県広報課
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
☎024(521)7014



くしまから
はじめよう。



C O N T E N T S

もくじ

ふくしまの宝「彩」…………… 2
 特集：福島県当初予算
 1兆7145億円…………… 4
 キビタンのわかる県政…………… 7
 ふくしまからはじめよう。… 8
 ふくしまの食…………… 10
 キビタンがゆく／
 広報ステーション…………… 11
 地域ゆめ情報…………… 12
 県からのお知らせ…………… 14
 施設インフォメーション…… 15
 ゆめクイズ…………… 16

【表紙】

県立川口高等学校では、「かわこうプロジェクト」と銘打ち、川口高校や金山町、さらにはその周辺地域を元気にしたい、何か貢献したいという思いから、通学路の清掃や、老人ホーム訪問、さらに平成23年新潟・福島豪雨の被害により一部不通が続くJR只見線の利用促進を応援する活動などを行っています。昨年（平成25年）度は地元の魅力を学生の目線で発掘・再発見し、観光プランを考える、県の事業「子ども『ふるさと福島』魅力発掘プロジェクト」に参加。金山町から昭和村を巡る2泊3日の旅「奥会津のMEGUMI」プランを作成し、今年1月に行われたプレゼン大会では県知事賞を受賞しました。生徒たちは、今後も古里の魅力を発信し、地域を元気にする活動を続けていきたいと話しています。



プレゼン大会での発表の様子

いろどり
彩

新しい春が訪れ、美しい花々が百花繚乱。彩りの風景は、ふるさとの宝です。

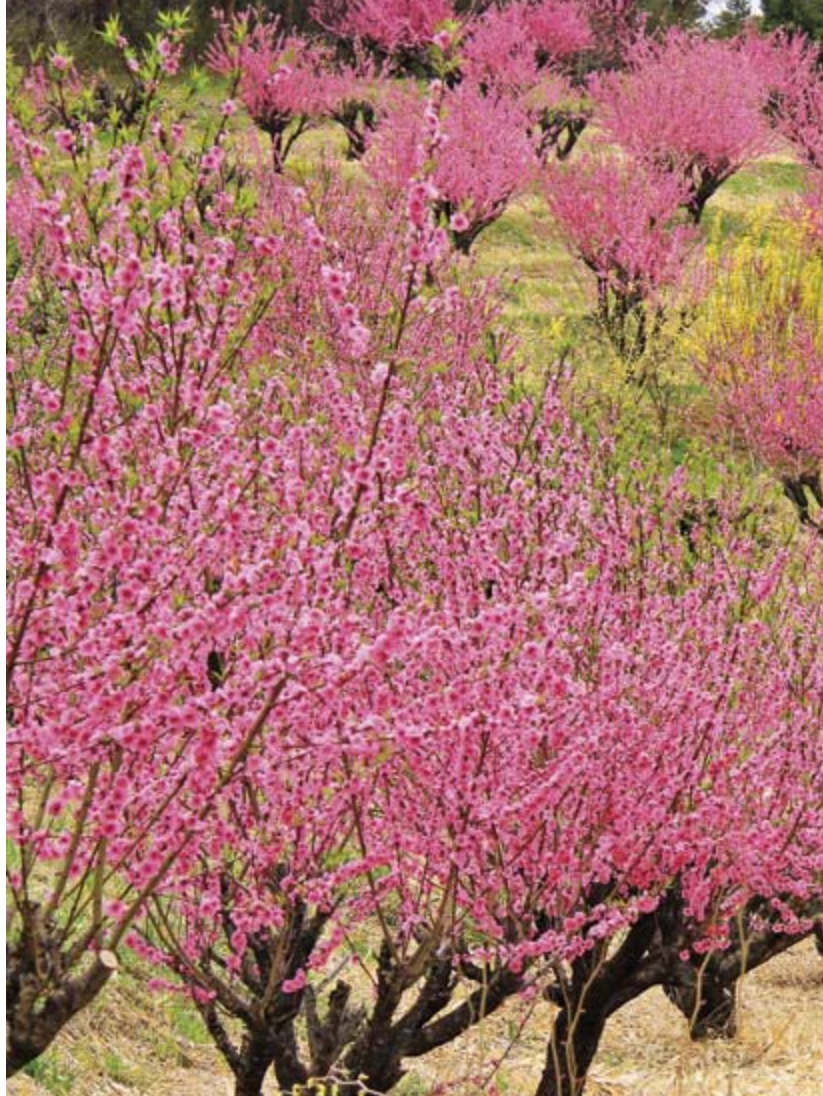
ふくしまの宝



2. 夏井川河川敷の桜と菜の花（いわき市）
 問い合わせ総合観光案内所 ☎ 0246-23-0122



3. 大内ダム斜面に咲くタンポポ (下郷町)
関下郷町観光協会 ☎ 0241-69-1144



1. 蛇首山じやおんざんのハナモモ (福島市) 関福島市観光案内所 ☎ 024-531-6428



4. 只見線沿線に咲く桜 (会津柳津～郷戸間) 関柳津町観光商工班 ☎ 0241-42-2114

色とりどりの花がいつせいに
 咲き誇る季節がやってきました。
 心まで春色に染まるような、華
 やいだひとときの訪れです。
 身近な暮らしの中に、そして
 少し足をのびた風景の中に、
 この季節だけの美しい瞬間を感
 じることが出来ます。そんな彩
 りの風景を探して、県内各地を
 訪れてみてはいかがでしょう。



5. 雪村庵の梅 (郡山市)
関郡山市観光協会 ☎ 024-924-2621



6. 馬陵公園池のカキツバタ (相馬市)
関相馬市商工観光課 ☎ 0244-37-2155



7. 牧草地の桜 (矢吹町)
関矢吹町産業振興課 ☎ 0248-42-2115

13の重点プロジェクト

東日本大震災・原子力災害からの復興・再生の視点により、特に取り組むべき課題を重点プロジェクトとして推進しています。

(事業数および事業費とも重複事業含む)

プロジェクト	内容	事業数	事業費
人口減少・高齡化対策	人口の県外流出の抑制、出生数の回復、高齢者の元気で豊かな暮らし、本県活力の向上	47 事業	1,423 億円
環境回復	除染の推進、食品の安全確保、廃棄物等の処理、拠点の整備	34 事業	2,455 億円
生活再建支援	県内外避難者支援、帰還に向けた取り組み、帰還後の生活再建支援、長期避難者などの生活拠点の整備、当面ふるさとへ戻らない人への支援、避難者を支える仕組み	48 事業	1,443 億円
県民の心身の健康を守る	県民の健康の保持・増進、地域医療などの再構築、最先端医療提供体制の整備、被災者等の心のケア	37 事業	360 億円
未来を担う子ども・若者育成	日本一安心して子どもを産み育てやすい環境づくり、生き抜く力を育む人づくり、ふくしまの将来の産業を担う人づくり	75 事業	316 億円
農林水産業再生	安全・安心を提供する取り組み、農業の再生、森林林業の再生、水産業の再生、区域見直しに伴う対応	67 事業	646 億円
中小企業等復興	県内中小企業などの振興、企業誘致の促進、新たな時代をリードする新産業の創出、区域見直しに伴う対応	35 事業	1,577 億円
再生可能エネルギー推進	再生可能エネルギーの導入拡大、研究開発拠点の整備、再生可能エネルギー関連産業の誘致、県内企業の参入・取引支援、再生可能エネルギーの地産地消の推進	11 事業	72 億円
医療関連産業集積	医療福祉機器産業の集積、創業拠点の整備	5 事業	174 億円
ふくしま・きずなづくり	福島県内におけるきずなづくり、県外避難者やふくしまを応援している人とのきずなづくり、ふくしまにおける復興へ向けた取り組みや情報の発信、ふるさとへ戻らない人とのきずなの維持	40 事業	51 億円
ふくしまの観光交流	観光復興キャンペーンの実施、観光と多様な交流の推進	21 事業	14 億円
津波被災地等復興まちづくり	「多重防御」による総合的な防災力が向上したまちづくり、地域防災計画などの見直し、防災意識の高い人づくり・地域づくり、地域とともに取り組む土地利用の再編や復興のまちづくり計画策定および実施	19 事業	888 億円
県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化	「浜通り軸」の早期復旧・整備と生活を支援する道路の整備、災害に強く信頼性の高い本県の復興を推進する道路ネットワークの構築、本県の物流、観光の復興を支える基盤の整備、JR常磐線・只見線の早期復旧、災害時における広域的な連携・連絡体制の構築	14 事業	412 億円

問 県庁復興・総合計画課 ☎ 024 (521)7809 ●ホームページに詳しい資料を公開しています。HP 福島県復興・総合計画課 検索

知事
メッセージ

「新生ふくしま」胎動の年

福島県知事 佐藤 雄平

大震災から3年。

この間、インフラの復旧が進み、観光地のにぎわいも戻りつつあるなど、県民の皆さんと一丸となつて取り組んできた成果が、目に見えるようになってきました。

平成26年度は、復興を前へ前へと進めていくため、総合計画に掲げる13の重点プロジェクトをさらに推進していく考えです。

中でも、復興公営住宅の入居開始や本県の未来を拓く各種拠点の着工・開所など、それぞれの取り組みが新たな段階に入ります。

これらを着実に進め、新たな福島県の姿をお示ししながら、復興の流れをより大きく、確かなものにしてまいります。





13の重点プロジェクトの1つ

人口減少・高齢化対策プロジェクト

人口減少や高齢化の影響を小さくすることは、本県の復興・再生のために重要な取り組みであることから、「出生数の回復」、「人口の県外流出の抑制」、「高齢者の元気で豊かな暮らし」、「本県の活力の向上」の観点から事業を選定し、最優先に予算配分を行いました。

◆主な新規事業を紹介します。

ふくしまからはじめよう。
ハンサム起業家育成・支援事業

女性の仕事と子育ての両立や、若者の県内定着を促進するため、起業を希望する女性や若者向けの相談会や起業塾を開催する。また、子育て支援機能を備えた共用の職場を設置するなど、事務所借り上げ等の初期経費を補助する。

☎ 県庁産業創出課 ☎ 024(521)7283

ふくしまで
“新しいコトをはじめたい”
を応援



ふくしまからはじめよう。
高齢者社会参加活動支援事業

元気な高齢者に高齢化社会の担い手として活動してもらうとともに、高齢者の生きがいづくりを支援するため、介護職員初任者研修の受講に要する経費を助成する。また、高齢者が地域の子どもたちとその親に、昔ながらの知恵や技術の継承を行うなどの世代間交流の取り組みを推進する。

☎ 県庁高齢福祉課 ☎ 024(521)7163

ふくしまで
“いきいき元気”に
はじめよう



ふくしまからはじめよう。
“元気発信”動画コンテスト事業

“福島元気な姿”を発信し、福島の魅力の回復を図るため、復興に関連した映像作品を県内の“子どもや若者たち”から募集する。また、作品は県のホームページなどに掲載し、さまざまな手段を通じて県内外に発信する。

☎ 県庁復興・総合計画課 ☎ 024(521)7809

ふくしまから
“元気発信”
はじめよう



本県から世界へ羽ばたくアスリートの養成を支援する『ふくしまから世界へ！「ふくしま夢アスリート」育成支援事業』

「ふくしまからはじめよう。」の取り組み強化

県のスローガンである「ふくしまからはじめよう。」には、一人一人が復興に向けて歩みはじめよう。そして、ふくしまから新たな流れを創っていく。という未来への意志が込められています。

このスローガンの下、再生可能エネルギー先駆けの地を目指す未来へ向けた取り組みや、本県に心を寄せる方々との「縁」を醸成させた交流など、復興に進む前向きなイメージを発信してきました。

今後、この取り組みを強化するため、「ふくしまからはじめよう。」の趣旨にあった38事業を選定し、重点的に推進することで、これまで以上に本県の新たな流れを創り出していく考えです。



キビコブのわかる県政

福島第一原子力発電所の廃炉に向けて



現在、福島第一原子力発電所では、事故の収束や廃炉に向けた作業が行われています。県では、汚染水対策や4号機燃料プールからの燃料取り出しなど、廃炉に向けた取り組みが安全で着実に進められるよう、監視体制を強化しています。

廃炉に向けた取り組みの安全監視体制について紹介します。

専門家・行政により
厳しい目線で
安全監視

福島県原子力発電所の廃炉に関する 安全監視協議会

○現地調査などにより、汚染水対策や廃炉作業の取り組み状況などを確認

構成員 32名	専門委員 15名	県 4名	関係市町村 13名
	原子力工学・放射線防護・水文地質学・水産資源学などさまざまな分野の専門家		

現地調査
H25年度
13回実施



国への
要請



東京電力への申し入れ

汚染水漏えいなどの一刻も早い収束、リスク管理を徹底すること

国への要請

責任を持って廃炉に向けた対策を実施すること

連携・
情報共有

意見
反映

県民の目線で
取り組みを
確認

福島県原子力発電所の廃炉に関する 安全確保県民会議

○わかりやすい情報提供のあり方などについて会議で確認

構成員 31名	県民から 13名	各種団体 15名	学識経験者 3名
	関係市町村 各1名	商工・観光などの団体から各1名	



会議
H25年度
3回実施

東京電力への意見

県民へ迅速でわかりやすい情報提供を!

国への意見

国が前面に出た対応を! 規制監視の強化を!

会議で出された意見は、県や協議会が行う申し入れなどに反映しています。

専門的な知識や経験を有する原子力の専門家を配置

- 原子力対策監1名 廃炉に向けた安全対策について、政策的な提言を行う
- 原子力専門員1名 東京電力の取り組みについて専門的な立場から確認を行う

平成26年4月1日より専門員を2名増員し、また、楡葉町に現地駐在員を配置します。▶監視体制をさらに強化!

原発周辺海域のモニタリングの実施

汚染水漏えいなどのトラブルが多発したことから、昨年7月より海中の放射能測定を頻度を年4回から毎月を増やし、海域モニタリングを2カ所から6カ所に強化しました。

会議やモニタリングの結果などの詳細は、県ホームページをご覧ください。また、県の取り組みや廃炉に向けた取り組みなどは、県庁西庁舎2階県民ホール、県の各合同庁舎内に設置された電子掲示板でも見ることができます。

問 県庁原子力安全対策課 ☎024(521)8054

福島県 原子力安全対策課

検索



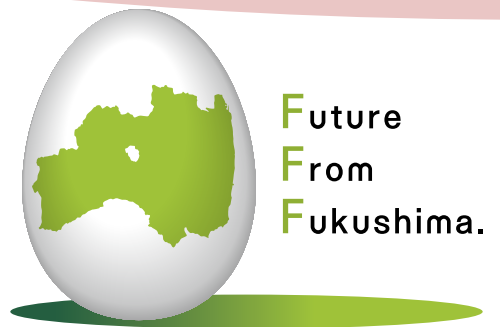
早期に事故が収束し、安全で着実に廃炉作業が進むよう引き続き確認していきます。

主な震災関連相談窓口一覧

福島県 相談窓口一覧

検索

原子力災害	放射線に関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後8時 土日祝日：午前8時30分～午後6時	☎0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く) ※毎週水曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施 巡回法律相談 県内7方部において弁護士による無料の対面相談を実施(予約制)	☎024(523)1501
生活	県内の仮設住宅への入居や、被災住宅の支援に関して	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎024(521)7698
	県内外に避難した人の相談窓口	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)	☎024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に関する問い合わせ	県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎024(549)5130
その他	県政に関する総合相談窓口 (相談窓口がわからない場合はこちらから)	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日：午前9時～正午、午後1時～午後4時(祝日を除く) 郡山 ☎0120-899-722 白河 ☎0120-899-723 会津 ☎0120-899-724 南会津 ☎0120-899-725 相双 ☎0120-899-726 いわき ☎0120-899-727	☎0120(899)721 フリーダイヤル ☎024(521)7017



Future
From
Fukushima.

ふくしまから
はじめよう。

「This is Fukushima (これが福島です)」というカレンダーがあります。作ったのは郡山市の中学校などで教えている外国人英語講師たち。友人や知人、世界中の人たちに本当の福島の姿を伝えたいとの思いが、作成のきっかけとなりました。



住んで見て知っている
生きている福島を世界に！

震災後、福島に住み続けるライアン・マクドナルドさんのもとに、母国の家族や友人・知人から心配する声が続々に届きました。それは一様に「なぜフクシマにいるんだ」「原発事故でもう人は住めないんじゃないのか?」といった内容だったそうです。福島が「月世界のように荒涼としたところだと思われる」とライアンさんは感じています。「でも、それはニュー

スの情報しか知らないからなんです。福島の美しさや、頑張っている福島の人々の姿が見えていないから。だったら、私たちがそれを見せよう、そしてイメージを共有してもらおうと思えました。友人のポール・スプリッグさんが撮影していた県内の風景写真を見せてもらったことも、大きなきっかけとなったそうです。何から始めるか?



(右)ライアン・マクドナルドさん(明健中学校の外国語教室の様子)。語学指導等外国人青年招致事業(JETプログラム)により2002年に来日し、外国語指導助手(ALT)として福島東高校(福島市)に赴任。2005年に郡山市教育委員会の英語講師となりました。1971年アメリカ合衆国ジョージア州出身です。

「This is Fukushima」カレンダー！

フクシマのイメージを発信する

郡山市教育委員会外国人英語講師 ●ライアン・マクドナルドさん(郡山市立明健中学校勤務)



(上)カレンダーに使用した写真は「福島で撮った写真を提供して!」と外国人講師仲間に募り、2014年版では「福島の人々」をメインテーマに選択しました。

(右)エリザベス女王とカナダのハーパー首相から届いた公式の礼状。



ここからみんなではじめよう

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた新地町。同町の鹿狼アルプホルン倶楽部が、震災がれきを活用した「アルプホルン」を作成し、演奏を行っています。

鹿狼アルプホルン倶楽部 (新地町) ☎0244(62)3771



◀同倶楽部は、仁科さん(後列左から3番目)が、「元旦に鹿狼山山頂からアルプホルンを演奏したい」と2005年に発足。三雲さんは後列左端。

▶乗鞍高原アルプス音楽祭(長野県)に出演の様子。(2011年9月)



「ありがとう」の気持ちを、音色に込めて。

「震災を風化させないために形として残したいと思った」鹿狼アルプホルン倶楽部の仁科静夫前会長は、震災がれきを活用したアルプホルンの制作経緯をこう話してくれました。

鹿狼アルプホルン倶楽部がある新地町は、津波で大きな被害を受けました。メンバーの中には家が流された方もいました。しかし、かねてから交流があった他県のクラブから物資などの支援を受け、程なく活動を再開。県内外の鎮魂慰霊祭などで演奏を重ねていました。そんな折、同じく被災した岩手県大槌町の方から、がれきで制作したマウスピース*をプレゼントされました。これをきっかけに「震災のがれきでアルプホルンを作る」ことを思いつき、町役場などの協力を得て、杉の流木を使った楽器作りをメンバーみんなで開始しました。

アルプホルンは、通常硬いヒノキなどを材料にするため、軟らかい杉の加工には、細心の注意を払わなければなりません。制作から約8か月経った昨年6月ようやく3台が完成。翌月の演奏会でデビューを果たしました。

三雲保現会長は、「震災がれきで作成したアルプホルンが完成した時は、感謝の気持ちでいっぱいになりました。イベントなどで演奏する前に、必ずこのアルプホルンを紹介しています。自分たちの活動を通して、震災の教訓を伝えられれば」と話します。現在は、年に十数回のペースで県内外の演奏会に参加。今後も積極的な活動を続けていく予定。支援に対する感謝を胸に、みんなの思いが込められたアルプホルンは、今後も素敵な音色を響かせ続けることでしょう。



▲みんなで協力して、砂や塩分を丁寧に取り除きました。

*マウスピース…管楽器などの口にあてる部分



▲内側は全て手作業でくりぬきます。

パソコンが得意なライアンさん、まず費用の心配がほとんどいないインターネットで見せていこう、と考えました。でも「それだと見てもせいぜい5、6秒。写真集なら? 多分同じですね、パラパラっと見たら閉じてしまうでしょう。でもカレンダーなら一年中かけておいで、見てもらえます!」

日本語を交えながら丁寧話してくれるライアンさんからは「美しい福島を知ってもらいたい!」という思いが、ひしひしと伝わってきました。

「福島という美しい木」に育つタネをまきたい

今なお世界が注視する事故処理が続く中、広がってしまったイメージを変えることは簡単ではありません。しかし、だからこそ「タネをまきたかったんだ」とライアンさん。「見てくれた人々の心に新しい福島の芽が出て、少しずつでもいいから木が育つてゆくように、美しい福島が世界に伝わってゆく、そんなタネをまきたいんです」。

カレンダーは県外・海外の、思いつく限りの著名人・マスコミなどにも送呈しました。

2013年版にはカーター元アメリカ大統領から、2014年版にはイギリスのエリザベス女王、カナダのハーパー首相などから、活動を讃える礼状が届きました。

また「福島が頑張っていることを伝えたいのでカレンダーを送ってほしい」と世界中からたくさんのお要望があったそうです。今年さらには多くの2015年「This is Fukushima」を発行し、世界に届けられれば——と、これからも福島を発信していこうという意気込みを語ってくれました。



賛同の寄付や協力が増えて、月めくりになった2014年版を手にライアンさん(中央)。最初の2013年版(2ヵ月めくり)は、ポールさん(右・カナダ出身)とヘナレ・ア克蘭ギさん(左・ニュージーランド出身)と3人で費用を出し合って作りました。



本物志向の水産加工品

「Buy uma」(倍旨)

できました！福島の新たな名産品

- (株)貴千 ☎0246-55-7005
- 山菱水産(株) ☎0246-52-1717
- (株)夕月 ☎0246-56-6381

3企業で10商品を開発しました



貴千は高級魚キンキを練り込んだ焼きぬきかまぼこ、山菱水産は会津の大葉みそを合わせたキハダマグロの中落ち、夕月は竹ちくわ(2種)・本蒸し蒲鉾・すり身にタコやツブ貝などを混ぜた美海シリーズ(5種)の計8品をそれぞれ開発しました。



左から (株)貴千 事業本部長 牧野 由朋さん
 (株)山菱水産 業務管理部長 リーダー 松本 友則さん
 (株)夕月 企画室長 四家 満紀子さん
 (株)夕月 研究開発担当 堤 佳美さん



東京の試食会でも大好評

倍

旨は「鮮魚をさらにおいしく」「旨さをお買い上げいただきたい」と誕生した福島県の水産加工品の新たなブランド商品です。

いわき市は水産加工業が盛んで、震災前は「板かまぼこ」の生産量日本一を誇っていました。しかし、津波の被害が甚大で再建を断念する会社が相次ぎ、かまぼこ製造業者は半減。再稼働にこぎつけた会社でも、主要マーケットだった関東地方での売り上げが激減し苦戦してきました。

県では県内の水産加工業の活性化を図ることを目的に新ブランド開発のプロジェクトを立ち上げ、参加企業を公募。そして選ばれたのが「貴千」「山菱水産」「夕月」の3社です。夕月の四家さんは、「いわき市の地場産業を再び盛り上げたかった」と参加理由について話します。昨年8月から商品開発を進め、3社それぞれの特長を生かした計10品が、今年2月にお披露目されました。



▲技術を生かし丁寧に作り上げています。

新定番として地元から



▲販売については各社にお問い合わせください。

開 発にあたっては、地域ブランド開発の専門家と大手小売店鮮魚部門の元バイヤーからアドバイスを受けました。吟味した魚介類を原料に、これまで以上に手間ひまをかけた質の高いものにする一方で、本物志向の人に喜ばれる製品を目指しました。

焼き色や食感にもこだわった竹ちくわ、生の魚を丁寧に下ろして練り込んだ焼きぬきかまぼこ、会津の大葉みそで味付けした中落ちなど、個性豊かな商品は、今年2月に東京で行われた試食会でも大好評でした。

「ぜひ福島の皆さんにも味わっていただいで、新しい定番にしていきたい」と貴千の牧野さん。山菱の松本さんも「まずは地元で認知され県外の方にも勧めてもらうことで、販路が広がっていきばうれいですね」と話していました。

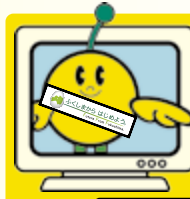


ふくしまからはじめよう。

福島県復興シンボルキャラクター

キビタンがゆく

キビタンの部屋



キビタンの活動の様子や、スケジュールなどを紹介。キビタンと会えるイベントをぜひ、チェックして!

キビタンの部屋

検索

おめでとう!!

●イラストを送ってくれてどうもありがとう!
キビタン賞のイラストを紹介します。



三瓶真綺さん・5才(鏡石町)



二瓶由衣さん・5才(会津美里町)



添田美桜さん・4才(須賀川市)



堀内 蓮さん・6才(伊達市)



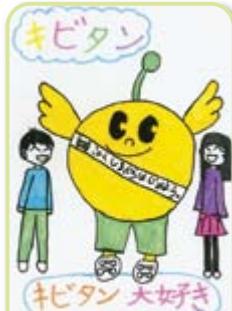
川井美希さん・5才(福島市)



菅野亮介さん・6才(福島市)



中田 琴さん・6才(いわき市)



吉村咲月さん・9才(二本松市)



齋藤優衣さん・5才(相馬市)



田中由唯さん・7才(南相馬市)



イラスト随時受付中! キビタンの絵を大募集! 広報誌やホームページなどでご紹介します。

◆対 象 / 小学生以下

◆住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢または学年を記入の上、同封してください。

960-8670
県庁広報課
キビタン
イラスト募集係
ハガキでご応募ください

誌面でご紹介した
キビタン賞の
お友だちには、
キビタングッズを
プレゼント。

※お名前・年齢(学年)、お住まいの
市町村名を掲載させていただきます

広報ステーション

これまでの広報誌や番組をご覧になれます▶

広報ステーション

検索

テレビ番組 ※一部、放送時間が変わることもあります。

県の施策を分かりやすく紹介

キビタンGO! ~ふくしまからはじめよう。~
【FTV】毎週必 21:54~22:00

新生ふくしま ~ふくしまからはじめよう。~
【FCT】毎週必 13:00~13:05(毎月3週目は13:05~13:10)

復興への取り組みをお伝えします

サタふく「ふくしま調査隊」
【FTV】毎週必 11:30~12:55

ふくしまスーパーJチャンネル
「ふくしまからはじめよう。」
【KFB】毎週必 17:36~17:54

ゴジてれChu!「ふくしま情報スクエア」
【FCT】毎月最終必 15:50~16:53

スイッチ!「行け! 行け! キビタン」
【TUF】毎月最終必 18:15~19:00

キビタンの天気予報

ゴジてれChu! 【FCT】必 18時台

1週間の県政の動きを紹介

ウィークリー県政トピックス
【KFB】毎週必 17:25~17:30

キビタン県政トピックス
【FTV】毎週必 21:54~21:59

ラジオ番組

知事室からこんにちは
ふくしまからはじめよう。ふるさとだより
【rfc】毎月最終必 12:30~12:45
ふくしまからはじめよう。(仮称)
【ふくしまFM】必 17:30~17:35

新聞

県からのお知らせ
【福島民報・福島民友】
原則毎月第2・第4土曜日の翌日

動画

HP 福島県公式チャンネル

検索

観光地や食などの
ふくしまの魅力と今を紹介

ふくしまてくてく

「福島の地酒」、「相馬逸品」、「三春駒」など、県内各地のふくしまの魅力を紹介しています。ぜひご覧ください。



【FTV】毎週必 11:45~11:50

【フジテレビ】毎週必 11:40~11:45
(関東ローカル)

福島県ふくしまてくてく

検索



HP上でも
見られるよ!

INFORMATION
地域ゆめ情報

いわき市 いわき市フラワーセンタースプリングフェスティバル2014
4月26日(土)・27日(日) 10:00~16:00
会場:いわき市フラワーセンター



いわきの自然を満喫できる「いわき市フラワーセンタースプリングフェスティバル2014」を開催します。洋ランや春の山野草の展示、押し花絵キーホルダーやフラワーボトル作成等の体験コーナーなど、子どもから大人まで楽しめる内容が盛りだくさんです。ぜひお越しください。入場は無料です。



いわき市フラワーセンター
☎ 0246(22)5667

古殿町 こしだい 越代のサクラ祭り
5月3日(祝)
会場:越代のサクラ公園



林野庁「森の巨人たち100選」に選ばれているヤマザクラの大木「越代のサクラ」。毎年5月3日に桜の下で流鏑馬太鼓やよさこい踊りなどのイベントを開催します。



今年から会場の公園駐車場を整備し、車でのご来場が便利になりました。ぜひお越しください。

古殿町産業振興課
☎ 0247(53)4620

相馬市 相馬市桜まつり
4月4日(金)~25日(金)
ぼりよう
会場:馬陵公園



相馬市の桜の名所、「馬陵公園」できれいな桜を心行くまで堪能してください。

期間中は、180本のぼんぼりと、20基の投光器が桜並木をライトアップし、午後11時まで夜桜を満喫することができます。



相馬商工会議所
☎ 0244(36)3171

棚倉町 じゅうまんごく 十万石棚倉城まつり
4月19日(土)・20日(日)
会場:棚倉城跡



桜の名所「棚倉城跡」で、武者行列、火縄銃砲術演武、お国替え駕籠競争など城下町にちなんだイベントや、棚倉町茶屋では野だてが行われます。

夜には園内の桜がライトアップされます。(期間 4月1日(火)~5月31日(土))

「たなぐら」の春のひと時をお楽しみください。



十万石棚倉城まつり実行委員会
(棚倉町商工会内)
☎ 0247(33)3161



“ 県内の主なイベント ”

4月

小野町	夏井千本桜まつり
4月10日(木)～5月10日(土)／小野町大字夏井地内 ☎小野町観光協会 0247-72-6938	
伊達市	伊達のふる里桜まつり
4月12日(土)～20日(日)／やながわ希望の森公園 ☎伊達市観光物産協会 024-529-7779	
会津若松市	鶴ヶ城さくら祭り
4月19日(土)・20日(日)／鶴ヶ城本丸ほか ☎会津若松観光ビューロー 0242-23-8000	
南会津町	南山の桜と歴史めぐりウォーク
4月27日(日)／田島地域 ☎南会津町観光物産協会 0241-62-3000	
昭和村	からむし市
4月26日(土)～5月6日(休)／からむし織の里 ☎からむし工芸博物館 0241-58-1677	
埴町	つつじ祭り
4月26日(土)～5月6日(休)／風呂山公園 ☎埴町観光協会 0247-43-3400	
西郷村	源流の郷 西郷さくら祭り
4月下旬／福島県総合社会福祉施設「太陽の国」 ☎西郷さくら祭り実行委員会 社会福祉法人 福島県社会福祉事業団 0248-25-3020	
平田村	2014ジュピアランドひらた芝桜まつり
4月29日(祝)～5月18日(日)／ジュピアランドひらた ☎平田村産業課 0247-55-3115	
下郷町	戸赤の山桜まつり
4月下旬～5月上旬／戸赤地区 ☎下郷町観光協会 0241-69-1144	
新地町	チューリップ祭り
4月下旬／新地城跡 ☎新地町観光協会 0244-62-2112	
鮫川村	鮫川ふるさと春まつり2014
5月3日(祝)～5日(祝)／農産物加工・直売所「手・まめ・館」ほか ☎鮫川村企画調整課 0247-49-3115	
喜多方市	ふれあい通り春の歩行者天国
5月5日(祝)／ふれあい通り商店街 ☎中央通り商店街振興組合(靴のコバヤシ) 0241-22-0756	
須賀川市	すかがわ国際短編映画祭
5月10日(土)・11日(日)／須賀川市文化センター ☎すかがわ国際短編映画祭実行委員会事務局 0248-88-9172	
檜枝岐村	愛宕神祭礼奉納歌舞伎
5月12日(月)／檜枝岐の舞台 ☎尾瀬檜枝岐温泉観光案内所 0241-75-2432	
西会津町	西会津ふるさとなつかしCarショー
5月25日(日)／さゆり公園 ☎西会津町クラシックカーで元気な町へ実行委員会(株)西会津町振興公社) 0241-45-2025	

その他の行事はホームページ [福島県内の主な行事](#)

北塩原村

第33回松原湖一周ファミリーサイクリング大会 5月25日(日) スタート・ゴール:休暇村裏磐梯多目的広場



松原湖の左まわりのコース約32kmを3時間30分以内に完走することを目指す大会です。

小学生以上で、完走できる方であれば、どなたでも参加できます。

初夏の裏磐梯の景色を肌で感じながら、ご家族でサイクリングを楽しみませんか。最高のおもてなしで皆さんをお迎えます。

裏磐梯サイクルフェスティバル大会事務局(北塩原村商工会内)
☎0241(23)5556



会津美里町

むかいほぐろやまじょうあと 炎の郷・向羽黒山城跡ふれあい茶会 5月25日(日) 10:00～15:00 はくほうざん 会場:白鳳山公園内・街なか



戦国武将あしなもりうじ章名盛氏が築いた日本最大級の山城「向羽黒山城跡」で行われる野だて茶会です。

会場からは会津盆地を見渡せ、雰囲気満点。

直径約30cmの抹茶碗おおちやもりでお茶を楽しむ「大茶盛」も本茶会の見どころです。

新緑に囲まれながら、お茶と茶菓子を味わいませんか。ぜひお越しください。

会津美里町観光協会
☎0242(56)4882



案内
子どもの急な病気に困ったら

夜間に子どもさんが急に具合が悪くなったときに利用できる「こども救急電話相談」を開設しています。
医師や看護師などが相談に応じ、家庭での対処法などをアドバイスするほか、必要に応じて受診可能な医療機関をご案内しています。

電話番号 短縮ダイヤル#80000

または **024(521)3790**

実施時間 午後7時から翌朝8時

料金 相談料無料

(※通話料はご負担いただきます。)

問 県庁地域医療課

☎024(521)7221

募集

「福が満開フォトコンテスト」
ふくしまの春の写真を「応募ください」

福島県の風景や街並み、文化遺産、食べ物などの写真を募集します。入賞者は「びゅう商品券10万円」など豪華賞品をプレゼント。また、入賞作品は「デジタルカメラマガジン10月号」に掲載します。

対象 平成24～26年の3月～6月に福島県内で撮影された写真

応募方法 デジタル一眼Webサイト「GALLERY」内コンテスト応募フォームからご応募ください。サイトへの登録(無料)が必要です。

応募期限 7月18日(金)

問 県庁観光交流課

☎024(521)7398

福が満開 フォトコンテスト

検索

募集

「第68回県展」
あなたの作品をお待ちしています。

6月20日(金)～29日(日)に県文化センターで開催する「第68回福島県総合美術展覧会」の作品を募集します。

部門 日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書

応募方法 申込書に必要事項を記入の上、作品とともに次の日時に所定の場所へ搬入してください。

搬入日時 6月3日(火)

午前9時30分～午後5時30分

搬入場所 県文化センター(福島市春日町)など(県内10カ所)

※開催要項・申込書は、最寄りの県地方振興局や各市町村教育委員会でご入手できるほか、ホームページからもダウンロードできます。

問 県庁文化振興課

☎024(521)7154

福島県展

検索

案内

只見ユネスコエコパークの登録へ

只見町は、豪雪が作り出す雪食地形に、ブナをはじめとした原生林が広く存在し、また、積雪地帯の伝統的な生活文化が継承されています。

只見町は、この自然と人間との共生モデルを世界に発信すべく、町全域と檜枝岐村の一部地域をユネスコエコパーク(ユネスコが認定する、自然と文化を守りながら地域社会の発展を目指す

「生物圏保存地域」への登録を目指してきましたが、今年6月に登録が正式に決定される予定になりました。詳しくは左記のホームページをご覧ください。

この春は、新緑が美しい只見のブナ林を訪れてみませんか。

問 県庁自然保護課

☎024(521)7210

只見町ブナセンター

検索

案内

誰でも利用できます
男女共生センター

男女共生センター(二本松市)は、男女共同参画社会を目指して地域リーダーの育成や健康セミナーなど、さまざまな講座を開催しています。男女問わず参加できます。

また、研修室や図書室、福祉機器展示室、ビュッフェレストランのほか、宿泊のみの利用も可能ですので、ぜひ気軽にご利用ください。

問 県男女共生センター

☎0243(23)8301

福島県男女共生センター

検索

案内

法人県民税・法人事業税の申告納付期限延長解除

対象市町村に本店を有する法人について、震災により延長していた法人県民税・事業税の申告納付等の期限を平成

27年3月31日までとしました。申告・納付等がまだお済みでない場合は、期限までに申告・納付等をお願いします。

対象市町村 田村市、南相馬市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

問 最寄りの県地方振興局県税部
または 県庁税務課

☎024(521)7068

募集

ふくしま復興県民債

県民の皆さんに県の復興へ向けた取組に参加していただくため、「ふくしま復興県民債」を発行します。

対象 県内在住・勤務・本県出身の個人または県内に営業拠点がある法人・団体など

申込限度額 10万円～2千万円(10万円単位)

発行総額 40億円

償還年限 5年

購入方法 東邦銀行、福島銀行、大東銀行および県内8信用金庫の本・支店で購入できます。(発行総額を超えた時点で終了) 詳しくは、取扱金融機関にお問い合わせください。

募集期間 5月16日(金)～26日(月)

利率 5月15日(木)午後12時決定予定

発行日 5月29日(木)

問 県庁財政課

☎024(521)7029

ビッグパレットふくしま

郡山市南二丁目 ☎ 024(947)8010

4月5日(土) ・6日(日)	第9回 ペットカーニバル*
4月11日(金) ～14日(月)	日本海骨董&大蔵ざらえ
4月19日(土) ・20日(日)	2014春ニットフェア
5月3日(祝) ～5日(祝)	KFBマンモス フリーマーケット2014*

福島県文化センター

福島市春日町 ☎ 024(534)9191

4月6日(日)	新日本舞踊 松栄流 第35回 桜まつり
4月20日(日)	竹内ひとみバレエスクール 第24回福島教室発表会
4月26日(土) ・27日(日)	第32回 波恵ダンス発表会*
4月29日(祝)	福島南高校吹奏楽部 第25回定期演奏会*
5月4日(祝)	福島東高校吹奏楽部 第31回定期演奏会*

クラッセふくしま

福島市三河南町 ☎ 024(525)4098

4月11日(金) ～13日(日)	押花アート 芳賀多喜子と6人展
4月14日(月) ～20日(日)	第27回 ふくしま美術クラブ展
5月3日(祝) ～6日(休)	2014ふくしま 洋蘭愛好会蘭展
5月30日(金) ～6月2日(月)	FTVカルチャーセンター 絵手紙季節つれづれ展

*有料のイベントです(他のイベントは入場無料)

●予定につき内容が変更される場合があります。この他にもたくさんイベントが開催されます。

福島県立美術館

検索 福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

「ちひろ美術館コレクション」 世界をめぐる絵本の旅

子どもを終生描いた絵本作家・いわさきちひろ(1918～1974)。世界初の絵本美術館、ちひろ美術館の2万余点を超える世界各地の絵本画家の作品の中から、珠玉の作品約150点を厳選して展覧します。

- 開催期間：4月26日(土)～6月1日(日)
- 観覧料：一般・大学生800円、高校生以下無料
- 休館日：4月30日(水)・5月7日(水)・12日(月)・19日(月)・26日(月)



「いわさき ちひろ『小鳥と少女』
1971年」

福島県立博物館

検索 会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

「写真展 東北一風土・人・くらし」

写真評論家・飯沢耕太郎氏の監修のもと、東北にゆかりのある、世代も表現もさまざまな10組の写真家による作品で構成した写真展です。国際交流基金によって企画されました。

- 開催期間：4月19日(土)～5月18日(日)
- 入館料：一般・大学生500円、高校生200円、小・中学生100円
- 休館日：4月21日(月)・30日(水)・5月7日(水)・12日(月)



津田直「加茂青砂、秋田フィールドノート」
(縄文遺跡・男鹿半島・夜ノ森)

福島県文化財センター白河館 まほろん

検索 白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

ふくしま復興展「発掘された大堀相馬焼」

ふくしまの個性豊かな文化を全国に向かって発信する企画展示です。今回は、浪江町中平・後田・仲禅寺遺跡の発掘調査などの成果から、近世・近代の大堀相馬焼について紹介します。

- 開催期間：4月26日(土)～6月29日(日)
- 入館料：無料
- 休館日：4月30日(水)、5月7日(水)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、6月は毎週月曜日



「浪江町中平遺跡出土の大堀相馬焼」

環境水族館 アクアマリンふくしま

検索 いわき市小名浜字辰巳町 50 ☎ 0246(73)2525

「化石水族館 太古の魚類展」

1階「海・生命の進化コーナー」に魚類の化石のイラストを展示します。

- 開催期間：4月19日(土)～6月29日(日)
- 入館料：一般・大学生1,600円、高校生・小中学生800円、未就学児無料
- 年中無休



「ユーステンプレトン」(画・友永たろ)

「ふくしまの森林を 次世代に引き継ぐ」 森林環境税の 取り組み

県では、県民全体で森林を守り育て、将来の世代に引き継いでいくため、森林環境税を導入しています。これを活用し、小中学校での森林環境学習の支援や、水源区域や災害を防ぐ機能を持つ森林の整備などに取り組んでいます。

また、震災からの復旧・復興に向け、県産木材の利用促進を図っています。このほか、図書館、集会所、公園など、皆さんの身近な施設への、県産木材を使用した本棚や机、ベンチなどの設置も行っています。

さらに、植樹イベントや森林に触れ合うワークショップの開催、森林文化をテーマとしたアーティストによる情報発信などを行い、県民の皆さんと共に森林づくりを推進していきます。

森林資源を活用した取り組みを行いたいなどのご相談や森林環境税についてのご意見をお寄せください。

関原庁森林計画課

☎ 024(521)7425

福島県森林環境税

検索



復興の願いを込めて――

「Buy uma (倍旨) ^{ばい うま}くまぼこ詰合せ」が当たる!

新ブランドを
味わおう!

20名様に
プレゼント

※写真はイメージです
(クール便でお送りします)



▲本蒸し蒲鉾



▲焼きぬき
かまぼこ



▲美海

問題

観光地などのふくしまの魅力と今を紹介している
県政テレビ番組名は?

ふくしまてく〇〇

〇の中に文字を入れてください。(ヒントは11ページ)



県民の声ミニアンケート

県政相談窓口(P7に掲載)や交通事故の相談窓口が県庁、各地方振興局
にあることをご存じですか?(1つ)

- ①両方とも知っていた
- ②県政相談窓口があることは知っていた
- ③交通事故相談窓口があることは知っていた
- ④どちらも知らなかった

※ 県政相談は、県庁、各地方振興局(県北除く)で行っています。

※ 交通事故相談は県庁で、交通事故巡回相談は郡山、白河、会津若松、いわき各合同庁舎で行っています。

●応募方法/ はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答え、アンケートの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で20名様に、「Buy uma (倍旨) くまぼこ詰合せ」を差し上げます。

●締め切り/ 4月30日(水)当日消印有効
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

電子メール yume@pref.fukushima.lg.jp

ファクス 024(521)7901



ゆめクイズ



クイズの答え

ふくしまてく〇〇

- ・県民の声ミニアンケートの回答(例)①
- ・興味を持った記事
- ・本誌へのご意見、ご感想
- ・県政への疑問、質問など
- ・郵便番号 住所 氏名 年齢 職業 電話番号

※アンケートの回答内容はプレゼントの当選には関係ありません。
※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、賞品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。
いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★4月号の正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

前回(2月号)の正解は「**福**が満開、**福**のしま。」でした。(応募総数 1925 通 うち正解 1908 通)

次回(No.244)は6月1日号です。